

2012 園長だより4月

## 最初の学び舎

＝人格の基礎をつくる大切なとき＝



4月。桜の花に祝福されて、かわいい園児たちが入園してきました。玄関の周囲には満開のチューリップが咲いています。この時期を心地よく過ごしてもらおうと、当園の教育顧問・佐藤信夫先生が10ヵ月前から準備をしてきたものです。

入園当初は、初めての幼稚園に戸惑う児もいましたが、1週間もするとどの教室も楽しい声に包まれるようになりました。これから、さまざまな行事や日常をとおして、初めての集団生活を経験していきます。ほし組・ゆき組の上級生たちも、お兄さんお姉さんとして経験を重ねていくことでしょう。

「幼稚園の砂場は、宝の山だ！」かつてそう言ったベテラン教育者がいました。

砂遊びでケンカをしたり、道具をとりあったり、順番待ちをしたり、集団生活のルールを少しずつ砂場で学ぶから、宝の山のように価値があるという意味です。

教室とホール、園庭、遊具、そして砂場。子供たちにとって初めての学び舎は、明るく楽しい場所ではなくてはなりません。もちろんそこに欠かせないのが、先生の存在です。善隣幼稚園の先生方も写真のとおり張り切っています。

前列左から、聖徳大ピアノ選抜の実績を持つほし組担任・杉本理恵先生、笑顔の素敵ひよこ組担任・松永美由紀先生、経験豊富で細やかなゆき組副担任・久松久美先生、子供に愛されるバス運転手・高栖昇先生、頼もしく心優しいゆき組担任・池田桂子先生、卓越した造形能力を持つはな組担任・稲葉久恵先生です。この顔触れで子供たちの園生活を応援し、心豊かに育んでいきたいと考えています。

よろしく願いいたします。

園長 今泉文彦